

呉まちなか公共空間デザイン会議（第6回）議事録

1 日時 令和8年2月9日（月）13時30分から15時30分まで

2 場所 呉市役所9階 海洋・海事未来研究所サテライト

●会議の流れ

- 1 新任委員紹介（資料1）
- 2 議事(1)に関して土木総務課から説明（資料2）
- 3 意見交換
- 4 議事(2)に関して土木総務課から説明（資料3）
- 5 意見交換
閉会

【質疑・意見交換1】

呉まちなか公共空間基本デザイン策定（資料2）に係る各委員からの主な意見は次のとおり

リーディングエリアにおけるゾーンコンセプト・機能配置案等について

後日公表予定

【質疑・意見交換2】

まちなか公共空間の利用促進について（資料3）に係る各委員からの主な意見は次のとおり

今後の取組において取り入れるべき視点等について

○意見1

空間の短期利用については、趣味を含む非営利の活動は使用料が無料、営利活動は使用料を有料化するなど検討をしてはどうか。

広報を学生、企業、ボランティア団体等に行い、積極的に使ってもらい、アンケートを取り、フィードバックを行うことが重要である。

○意見2

①のモグモグパークについて、知人のキッチンカー業者から聞いた話である。余所では出店のみではなく、例えばイスやベンチ、簡易な遊具も有料で貸し出すといった取組をされている。単純に店を出す場所だけでなく、来園者にとって他の公園利用が可能で、プラスの楽しみ方ができるものを貸し出せる仕組みがあれば良いと思った。

また、例えば、出店者情報を市が広報するといった、店側のメリットを示し、余所の募集とは一味違うといったメリットがあればいいかなと思ったので、今後の募集時には、そういったプラスアルファを示すことができ

れば良いのではないかなと思った。

○神垣土木総務課長

ご意見をいただいたとおり、昨年度の呉市まちなか公共空間社会実験においても、色々な遊具の貸出しが非常に好評であった。ご意見のとおり、そのような仕組みを導入できれば良いと思っているが、現在貸し出せるものを持ち合わせていないので、これは、今後のまちなかの整備の中で、パークマネージャーの役割の一つとして、遊具等の貸出し機能を持たせるように考えていきたいと思っている。

○意見 3

ベンチとテーブルに関して、ベンチはあるが、数脚しかなく、そこに他の来園者が荷物を置いていたりすると、座る場所が中々なかったりする。キッチンカーが出店するときだけでも、ベンチやテーブルを設置して、過ごせるような場所を造ればよいと思う。売店を一時的に開放するなどすると利用も多くなると思った。

②と③の今後検討する取組について、私自身がイベントを企画しようと思った場合、お金・場所・材料・道具などが、ネックになると感じている。そういった面がプレイヤーの登録システムの開始によって、許可書を送るのがスムーズになり、申請方法の複雑化の解消や公園の空き状況の確認などが簡単にできれば良いと思う。また、例えば、プレイヤー向けのアプリが造られ、申請前に使用料が計算でき、貸出し物品が見て分かるイベントの企画や検討をしやすいと思うので、その辺の使いやすさ、分かりやすさが向上すれば良いと思った。

広報の面では、周知して来園していただくといったところが一番大変であると思うので、市側が情報を発信し、プレイヤーをサポートできると良い。それを見て、利用する側もプレイヤー側になる人も増え、この場所に行ってみようと思う人も増えると思うので、そういったサポートができれば良いと思った。

○意見 4

私も広報についてお話しする。こういったキッチンカーの出店などの事業やイベントを行う時は、とにかく知ってもらうことがすごく大切で大変だと思う。現状のまま事業を始めると、個々の人、口コミに広報を委ねてしまうことになり、そうすると、なんかお店出してるらしいよとか、キッチンカーがいるらしいよといった感じで、単発でしか発信されなくなる。そのため、まちなか公共空間の利用という1つのプロジェクトの中で取組を行っていることをしっかり来訪者に解っていただく必要があると思

う。

呉市のまちなか公共空間の取組としてやっているという見せ方をアシストする必要があると思うが、OurPark や呉市まちなか公共空間社会実験の時は、これらの事業の中でキッチンカーの出店やヨガをやっているといった形の見せ方ができていたので、社会実験の流れを引き継いでスタートされたら良いと思う。

○意見 5

この会議に参加しているのでこの取組を知ることができたと思う。そう考えると、知ってもらうための広報は大事であると思う。

②・③の取組に関しては、今年も引き続き、団体内でイベントを開催する声は既に挙がっていて、この②、③を利用すると、さらに僕たちは便利になるし、プレイヤーの登録者間で交流があれば出店に関しても、上手く利用させていただけるのかなと思う。いつ頃から実施予定か伺いたい。

○神垣土木総務課長

早いうちの実施を検討するが、明確にいつということを現段階で決めていないため、改めてお伝えさせていただきたい。

○意見 5

是非よろしく願いしたい。②と③の取組は、将来のパークマネージャーの常駐に通ずることであって、パークマネジメントの一環だと思うので、積極的にやっていただけると非常に良いと思う。

○意見 6

これらの取組は、再整備するまでの期間で取り組まれるものであると思うが、先ほどのご意見にあったように、広報が非常に大事だということは全く同感である。公園で事業をされる方の目線だけではなく、これを一般の利用者の方にも知っていただくということが、今後、この場所を運営していく中で非常に重要であると思っている。

例えば、市民の方に関心をもってもらうために、情報をオンライン化し、ここの飲食機能は良かったなど生の声をダイレクトに呉市等の運営者とやり取りできれば、公園がより身近になってくると思う。

また、将来、そのような制度ができれば、施設や植栽などの損傷に関する情報も市民の方から発信していただくと、維持修繕の役に立って、管理面も良くなっていくと思うので、そのような視点も取り入れたら良いと感じた。

○意見 7

今回の事業では、飲食の出店やヨガ・マルシェ等を想定されているが、私は環境イベントに関わる中で、どのようにしてお客さんを増やすか考えている。イベントの企画時には、環境の講演会、環境に係わる催しをしようといった声が挙がるが、そうすると環境に興味がある人しか来ないので、環境の広報にならないということを私は意見をしてきた。では、誰を呼べばいいかということ、子どもが関わるダンスなどのイベントを開催すると、その広報をされたい方、さらに保護者と親族の方が来てくれる。そのように子どもが関わるイベントを呼び込むと保護者から親族・友人に広報効果が波及し、集客力が大きくなると思う。

先の話になると思うが、ダンスや楽器をしている子ども達は、割と発表の場を探していたりするので、パークマネージャーの仕事になるかもしれないが、そういった人たちに出演の声かけができるようにしておくと、呉市や出店者からの広報以外によって、イベント参加者がお客さんを呼んできてくれると思うので、そういったことも一緒に取り入れられると良いではないかと思った。

○意見 8

キッチンカーの出店、やってみたいことの挑戦について、休日のお客さんが実際に来ていただけるタイミングであれば、比較的キッチンカーが出て商売になるでしょうし、とてもいい取組であると思う。一方で、非収益事業をどのようにしていくかということが、課題になると思う。

先程、議論がありました自然と関わる体験や人材の育成といったパブリックな取組になると、なかなか収益が上がらないので、たとえ利用時に公園使用料が免除されたとしても、おそらくコスト負けすると思う。結局、コスト負けすることになると、プレイヤーも本業がある中で本業の利益を削りながら、本業以外のところに力を注いでいくことになり、それは大変なことであると思う。

パブリックな取組というのは、ハレとケの日という公共空間内での2つの側面があるなかで、ハレの日はイベントを実施すると人が集まり儲けを生み出し、パブリックな取組みを支えやすくなる。一方でケの日、つまり通常の平日にパブリックなイベントを実施しても継続が難しい。公共空間の利用促進上で重要なのは、ケの日にどれだけ人が集まるのか。ハレの日で集まった人をパブリックな取組の中でどのようにケの日に繋げていくかということが大切である。現在、様々な自治体が公園などの新たな活用を検討されている。その検討の中で、非収益事業をどのように支えていくかという点が課題になる。例えば、呉市が補助制度を立ち上げ、プレイヤーがその制度を使うといった仕組みを作ることも必要だと思う。その上

で、プレイヤーの登録・交流制度の創設の裏に補助制度の検討がセットされ、この制度が行政の支援制度とプレイヤーを繋ぐことができれば良いと思った。

○意見 9

意見 8 を聞いて直感的に思ったのは、公園は屋外なので天候の懸念がある。幸い、中央公園 8 ブロックは市役所に近いので、雨の日は市役所のロビーが使えるといった融通が聞けば、より色々な取組を行うことができるのではないかと思う。

以上で閉会